

省エネルギー促進に 向けた広報事業

各種イベントを開催しました

第5回 省エネチャレンジカップ

沖縄県内の高校生から高等専門学校生・大学生等の若年者層を対象に、沖縄における脱炭素社会の実現に向けた「省エネ意識」の啓発を目的として、沖縄の気候風土に適した省エネ対策アイディアを募集しています。

実施概要

○ 募集期間 令和5年9月1日(金)～12月1日(金)

○ 表彰 28提案

○ 提案総数 12点

・ 内閣府沖縄総合事務局長賞 (最優秀賞)

・ 省エネチャレンジカップ

審査委員長賞 12点

協賛社賞 1点

受賞提案の紹介

第5回となる「省エネチャレンジカップ」の表彰式を、令和6年3月1日に、沖縄県立博物館・美術館の講堂で開催しました。

表彰式

受賞された宮城佑香さんの「二酸化炭素を資源に！メタネーションによるe-methane」を含めたカーボンリサイクル燃料における島嶼型炭素循環モデルの省エネ手法は、合成メタンが天然ガス等の既存ガスエネルギーの脱炭素化に貢献するという「環境適合性」と、天然ガスから合成メタンに置き換えてもガス導管やガス消費機器などの既存インフラ・設備はそのまま活用できるという「経済効率性」にも優れた内容となっており、沖縄における省エネ推進に大きく貢献すると期待できる素晴らしい提案でした。



第5回 省エネチャレンジカップ / みんなで考えよう持続可能な沖縄 省エネアイディア大募集

応募テーマ	応募期間
Q. 沖縄の気候風土に合った省エネ対策とは?	2023/9/1正→12/1正 17時必着

沖縄の未来を担う若者の省エネ提案を是非ご覧ください。



第5回 省エネチャレンジカップ表彰式

受賞者集合写真

る提案でした。

令和5年度エネルギー 使用合理化シンポジウム

沖縄県内の事務所や工場における省工ネ推進のご参考としていたくために、国の省工ネ施策の紹介や県内事業者の省工ネ取組事例などを紹介する「令和5年度工ネルギー使用合理化シンポジウム」を令和6年3月1日に沖縄県立博物館・美術館の講堂で開催しました。

① NPO法人沖縄県環境管理技術センタービジョンポジウムでは、省エネ補助金を始めとする経済産業省施策を紹介したほか、

② 沖縄綿久寝具（株）の奥原崇史氏から「省エネ補助金」を活用した設備更新の取組について、
③（株）エネルギーラボ沖縄の宮城康智氏から「脱炭素経営の意義や取り組み方」についてご説明いただきました。また、プログラムの最後には、「沖縄における事業者の省エネ推進に向けた」というタイトルでパネルディスカッションを行いました。奥原氏は「省エネ補助金を活用することで設備投資に踏み出せ、自社において省エネ成果

が出て いる」ことを紹介し、名嘉氏は「省エネは売上アップと同じ効果がある」と述べ、省エネの重要性を強調する」と述べ、「企業の経営課題を解決する1つの手段として、省エネに取り組む意義」をお話いただきました。



パネルディスカッションの様子

今後も沖縄総合事務局エネルギー課では、沖縄県内の省エネルギー対策に向けて様々な取組を行つてまいります。

お問合せ先
経済産業部エネルギー・燃料課
☎ 098-866-1759

省エネ支援策パッケージ

突発的なエネルギー価格高騰への対応力強化や、カーボンニュートラル実現の観点から、省エネの重要性がより一層高まっている中、令和5年度補正予算に省エネ支援策の強化が盛り込まれました。

【省エネ診断】

省エネの専門家が工場や事務所を訪問し、エネルギー使用の改善をアドバイスします。

省エネ補助金

工場のボイラや工業炉、ビルの空調設備や業務用給湯器などを、省エネ型設備へと更新することを支援します。

